まちの手だい

3月3日 | ラジオで活動発表

六合東小の5年生78人が、6年生への感謝の気持ちや学校活動の思い出などを伝えるため、 FM 島田に出演しました。

内容は「コロナ禍の学校生活」「6年生に感謝する会」「SDGsを広めよう」の3番組。児童は、クラスごとに発表し、全員で収録に臨みました。子どもたちは「初めてのラジオ収録は緊張したけど、楽しく話せて良かった」と笑い合っていました。



3月1日 | 決意を新たに看護の道へ

市立看護専門学校で第31回卒業式が行われ、36人の学生が新たに看護の道へ巣立ちました。卒業生のうち25人の、島田市立総合医療センターへの就職が内定しています。

卒業生代表の小笠原希さんは「同じ道を志す仲間や先生、指導してくれた看護師の皆さんに出会えた喜びを胸に、これからの人生を歩んでいきたい」と述べ、看護師としての決意を新たにしました。

トピックス

絵本「ゆうじょうのかけはし」を寄贈

2月に島田市国際交流協会が、米国リッチモンド市との姉妹 都市提携 60 周年を記念して、絵本「ゆうじょうのかけはし」を

市内の学校には、リッチモンド友好委員会のメンバーが全校を回り、手渡しました。絵本には、両市が姉妹都市になった経緯や、将来の交流を担う若い世代へのメッセージが、分かりやすく描かれています。上下逆さまにすると英文の本になるため、2カ国語で読むことができます。ぜひ、ご覧ください。

作成。市内の小中学校や公共施設、リ市などに寄贈しました。





2月3日 | シイタケの菌打ちを体験

大津小の3年生33人が、コナラの原木にシイタケの菌を打ち込む体験をしました。

この行事は、地元の豊かな自然についての理解を深めてもらうことを目的に、大津財産区の議員を務める住民が毎年行っているものです。子どもたちは、シイタケの原木栽培についての説明を受けた後、地元住民が用意した原木にドリルで穴を開け、1駒ずつ丁寧に菌を植え付けました。

2月26日 | 健やかな成長を願って

2021年中に市内で誕生した新生児614人を対象に、市の花であるバラの苗木が贈られました。

この事業は、緑を大切にする市民の心を育むとともに、子どもたちの健やかな成長を願い、市が毎年実施しています。配布会場のばらの丘公園には、さまざまな種類のバラの苗木を用意。訪れた家族は、赤ちゃんに「元気に、大きくなってね」と優しく声を掛けながら、苗木を選んでいました。





トピックス

全国大会に向けて準備は万全



第13回全日本少年春季軟式野球大会に出場する初倉中・川根中・中川根中(川根本町)による3校合同チームのメンバーが、12月27日に市長を表敬訪問しました。

キャプテンを務める初倉中2年生の山崎功太さん(前列の右から3人目)は「他県の代表と渡り合えるチームを作っていきたい」と全国大会に向けた抱負を述べました。

合同チームの第1試合は、3月22日(火)に島田球場で開催 予定。宮城県代表の富谷市立成田中学校と対戦します。